

札幌飛行場(丘珠空港)の概要と沿革

概要

区分	現況
設置管理者・種別	防衛大臣・共用空港
空港の位置	標点位置 北緯 43 度 7 分 3 秒 東経 141 度 22 分 53 秒 標高 8m 行政区域 札幌市
空港面積	総面積 103 万 m ² (防衛省所管 90 万 m ² 、国土交通省所管 13 m ²)
滑走路	長さ × 幅 1,500m × 45m
誘導路	長さ × 幅 1,530m × 18m
エプロン	大型航空機用 中型航空機用 5 バース 小型航空機用 22 バース(小型機双発用 2、小型機単発用 16、回転翼機用 2)
駐車場	面積 14,067 m ² 収容台数 360 台
ターミナルビル	全面積 3,515 m ²



沿革

- 昭和 17 年 9 月 : 旧陸軍航空隊が 229 万m²の用地を買収して飛行場を設置
昭和 21 ~ 25 年 : 米軍空挺部隊等が演習場として使用
昭和 29 年 4 月 : 陸上自衛隊が移駐
昭和 33 年 12 月 3 日 : 防衛庁告示第 167 号により「札幌飛行場」となる
昭和 36 年 11 月 27 日 : 運輸省告示第 407 号により公共用施設として指定
昭和 36 年 12 月 10 日 : 上記告示に基づき、共用飛行場としての供用を開始
昭和 38 年 3 月 : タワー（飛行場管制）の運用開始
昭和 39 年 12 月 : 旅客ターミナルビル供用開始
昭和 42 年 11 月 : 滑走路延長（1,000m → 1,400m）
昭和 49 年 12 月 : 道外定期路線を千歳へ完全移管
昭和 52 年 7 月 27 日 : 滑走路方位変更（15/33 → 14/32）
平成 3 年 8 月 : エプロン拡張 供用開始
平成 4 年 2 月 21 日 : 新旅客ターミナルビル供用開始
平成 13 年 6 月 : 滑走路延長等工事着手
平成 16 年 3 月 : 滑走路延長（1,400m → 1,500m）、エプロン・駐車場拡張
供用開始
平成 17 年 12 月 : エプロンに国内初となる乗降客用ロードヒーティング完成
平成 20 年 11 月 : ターミナルレーダー管制運用開始



丘珠空港ターミナルビル



札幌飛行場（丘珠空港）